

パブコメの声を真摯に受け止め、しっかり検討を

10月1日締め切りのパブリックコメントには、136人から341件の意見が寄せられ、思いの詰まった長文のものがたくさんありました。市の回答を含め、総ページ数は78ページにのぼります。市は、意見を踏まえ、しつかり検討してほしいと思います。

ります。専門家とおぼしき人は、「国立医大のような万能の病院のような説明だったが、過信している」と厳しく指摘しています。

負担金を滞納

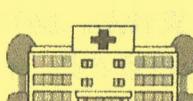
2.5倍の確保が必要です。

性期ですが、実態に応じて、患者
7人に1人の看護師が必要な急
性期ベッドを減らし、13～15人
に1人の回復・慢性期を増やすな
ど、ベッドの再編も一策です。

どうする？！川西病院？！

なる？！どうする？！川西病院？！

2019(平成31)年1月27日(日)10:00~
高谷公民館 2階 講座室



必須、なければ別途料金が発生、全室個室（3割有料）、10～12日で早期退院、駐車場がほとんどない病院です。

その他、「診療体制」20件、「建設予定地」13件、「駐車場」12件など。

医師・看護師不足の懸念

医師・看護師不足の懸念は真剣に検討を要します。指定管理者制度の視察で伺った岐阜県多治見市民病院では、医師・看護師確保が十分できないまま新病院に移行。250床に対して136床でスタートせざるを得ませんでした。医師・看護師・医療技術職130人中56人(43%)が退職、32人(25%)が市役所へ移りました。(たんぽぽだより 177・181号掲載)

医療技術職は39人中21人(51%)が協和会に移籍、数にとどまつており、4月からの管理運営が懸念されます。なお、現病院は新病院ができるまで協和会の指定管理下で存続します。

名前は市立病院、中身は協和会（協立病院）のため、巨額を投じる必要があるでしょうか。地域住民の切なる願いやまちづくりの観点でも、様々な自然災害やパンデミック対策のためにも北部の川西病院（築35年）は絶対必要です。市民は望んでいるのか、患者が、医師が、看護師が集まるのかなどの懸念の大きい事業で355億円もの借金をかかえるリスクより、知恵を集め小投資での存続の道を模索すべきです。

19200 筆の署名の重みを

が、指定管理者（協和会・協立病院）ありき・指定管理者万能で突き進んでいいはずがありません。来年度、一般会計からの支出は、協和会・移籍職員給与差額分や市役所への転職者人件費だけで約6億1000万円。他に市都合解雇のための退職金上乗せ分5億円の返済が加わります。指定管理料として国の交付金2億5000万円は協和会に支払われます。（予定）

びつしり書かれたパブコメの結果を真摯に受けとめ、誠意をもって検討・対応していくことが強く求められています。